

学生の確保の見通し等を記載した書類

—目次—

1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

(1) 学生確保の見通し

①定員充足の見込み	P. 1
②定員充足の根拠となる客観的なデータの概要	P. 1
③長期的な定員確保の見通し	P. 3
④学生納付金の設定の考え方	P. 3
(2) 学生確保に向けた具体的な取組状況	P. 4

2. 人材需要の動向等社会の要請

(1) 人材養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	P. 6
(2) 上記(1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠	P. 7

〈添付資料〉

資料 1 茨城県教育委員会からの要望書	P. 8
資料 2 教職大学院に関するニーズ調査	P. 10
資料 3 進学希望アンケート結果	P. 12
資料 4 過去 5 年間(平成 27 年～31 年)の平均志願者数及び入学者数	P. 20
資料 5 過去 5 年間(平成 27 年～31 年)の学生区分別平均志願者数	P. 21
資料 6 茨城県公立小・中学校の教員採用推計者数等(2018 版)	P. 22

茨城大学大学院教育学研究科

1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

(1) 学生確保の見通し

① 定員充足の見込み

本教職大学院の入学定員は 43 名であり、入学者の内訳として現職教員学生 13 名程度、学部新卒学生 30 名程度を想定している。

現職教員学生については、毎年度、茨城県教育委員会から 13 名が派遣されることとなっており、安定的な現職教員学生の確保が可能である。

学部新卒学生については、進学希望のアンケート調査結果において十分な志願者が想定されており、過去の入学試験の志願状況からも想定する入学定員を上回る志願者が見込まれる。

これらの理由により、43 名の定員に対し十分な現職教員学生及び学部新卒学生の確保ができる。

② 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

ア 現職教員学生

現職教員学生については茨城県教育委員会との協議により、現行の 9 名（学校運営コース 7 名，教育方法開発コース 1 名，児童生徒支援コース 1 名）に加え，新たに 4 名（教科領域コース 2 名，特別支援科学コース 1 名，養護科学コース 1 名），計 13 名が毎年度派遣されることとなっている。（資料 1 参照）

また，本研究科の構想においては，茨城県教育委員会との複数の協議会や個別の協議のうえ，最新の教育課題への対応やニーズ等を踏まえたものとなっており，大学院修学休業制度を利用した現職教員学生の入学者も期待できる。

イ 学部新卒学生

【進学希望アンケート】

令和元年 7 月に，本学教育学部，人文社会科学部，理学部の学部 3 年次生を対象に改組後の教職大学院への進学希望アンケートを実施した（資料 2 参照）。その結果，表 1 に示すとおり「教職大学院にぜひ進学したい」54 人，「教職大学院に進学したい」15 人，「教職大学院に進学するか迷っている」56 人，「今は関心がない」145 人という結果が得られた。「教職大学院にぜひ進学したい」と回答した 54 名の第 1 志望をコース別に見ると，表 2 のとおり，教育方法開発コース 5 名，児童生徒支援コース 6 名，教科教育領域コース 31 名，特別支援科学コース 5 名，養護科学コース 7 名であった。なお，学校運営コースは現職教員を対象としたコースのため設問項目からは除外している。

さらに，平成 30 年 12 月に茨城県の教員養成の高度化を目的に設立した「茨城県の教員養成に関わる 3 大学連携協議会」の協定校である茨城キリスト教大学と常磐大学の学部 3 年次生に対し，それぞれ 7 月，10 月に同様のアンケート調査を実施した（資料 2 参照）。その結果，表 1 に示すとおり，「教職大学院にぜひ進学したい」6 人，「教職大学院に進学した

い」2人、「教職大学院に進学するか迷っている」10人、「今は関心がない」24人という結果が得られた。「教職大学院にぜひ進学したい」と回答した6名の第1志望をコース別に見ると、表2のとおり、教育方法開発コース2名、児童生徒支援コース2名、教科教育領域コース0名、特別支援科学コース2名、養護科学コース0名であった。

これらのアンケート結果より「教職大学院にぜひ進学したい」との回答は、教育方法開発コース7名、児童生徒支援コース8名、教科教育領域コース31名、特別支援科学コース7名、養護科学コース7名の計60名となり、入学定員43名のうち現職教員学生13名を除いた学部新卒学生の入学定員の30名に対し、想定志願倍率は2.0倍となり、競争的な入学者選抜を実施した上で、定員充足が十分に可能な水準にあると判断できる。

表1 茨城大学の教職大学院への進学志望について

質問項目 アンケート対象		(1)教職大学院に ぜひ進学したい	(2)教職大学院に 進学したい	(3)教職大学院に 進学するか迷っている	(4)今は関心がない
茨城大学	教育学部	52	13	52	107
	他学部	2	2	4	38
他大学	茨城キリスト教大学	3	1	4	0
	常磐大学	3	1	6	24
合計		60	17	66	169

表2 進学したいコースについて（「(1)教職大学院にぜひ進学したい」の回答者）

アンケート対象		教育方法開発 コース	児童生徒支援 コース	教科領域 コース	特別支援科学 コース	養護科学 コース
茨城大学	教育学部	4	6	30	5	7
	他学部	1	0	1	0	0
他大学	茨城キリスト教大学	1	1	0	1	0
	常磐大学	1	1	0	1	0
合計		7	8	31	7	7

※ 詳細アンケート結果は、資料3参照

【過去5年の入学試験実施状況】

今回の設置によりカリキュラムの変更等はあるものの、基本的には既存の修士課程の障害児教育専攻が特別支援科学コースに、教科教育専攻が教科領域コースに、養護教育専攻が養護科学コースに、それぞれの学問分野は継承される。また、既存の教職大学院の学校運営コース、教育方法開発コース、児童生徒支援コースの3コースについても同様である。このため、これまでの入学者選抜の実績から設置後の志願者数を想定することが可能であ

る。

資料 4 で示すとおり、平成 27 年度から平成 31 年度までの過去 5 年間の平均入学志願者数は、教職大学院では 20 名（学校運営コース 7.3 名、教育方法開発コース 7.3 名、児童生徒支援コース 5.5 名）であり、教職大学院に移行することとなる修士課程においては、障害児教育専攻 4.6 名、教科教育専攻 39.6 名、養護教育専攻 2.6 名、合計 66.8 名となっている。

これらの志願者から茨城県教育委員会から派遣される現職教員学生を除いた人数は、教育方法開発コース 6.3 名、児童生徒支援コース 4.5 名、障害児教育専攻 3.6 名、教科教育専攻 37.4 名、養護教育専攻 2.4 名、合計 54.2 名であるため、入学定員 43 名のうち、現職教員 13 名を除いた、学部新卒学生の入学定員 30 名に対し 1.8 倍の想定志願倍率となり、過去の入学試験実施状況から見ても、十分に入学者を確保できる水準にあると判断できる。

③ 長期的な定員確保の見通し

【現職教員学生】

現職教員学生については、近年複雑化する教育現場の課題解決や学校・学級経営に資する現職教員の高度化を茨城県教育委員会が強く求めており、別紙の要望書（資料 1 参照）には、毎年度 13 名の現職教員を派遣し、最新の教育課題を踏まえた現職教員の高度化を求められている。このため、当面の間、安定した現職教員学生の確保が可能である。

【学部新卒学生】

学部新卒学生については、資料 5 のとおり、毎年度安定した志願者を確保しているとともに、今回のアンケート結果においては、これまでの平均志願者数を大幅に上回る志願者がいる。また、近隣の私立大学と連携を強化した結果、今回の進学に関するアンケート調査においてこれまでの志願者以上の進学希望者がいることなどから、中長期的に学部新卒学生の確保ができると考える。

また、茨城県教育委員会より入手した今後の小中学校における教員需要は、2020 年度から 2024 年までは 2011 年度の約 2 倍、2025 年から 2028 年までは 2011 年度の 1.5 倍を超える予測となっており、本学は茨城県の教員養成の中核として、当面の間、学部・大学院の定員規模の維持を予定している。これらの状況により、今後も一定数の進学者の確保ができることから長期的な学部新卒学生の確保が可能と考える。

④ 学生納付金の設定の考え方

国立大学等の授業料その他費用に関する省令第 2 条第 1 項で定める標準額と同額とし、現行の教育学研究科における納付金から変更はない。

〈授業料の年額〉 535,800 円

〈入学料〉 282,000 円

(2) 学生確保に向けた具体的な取組み状況

本学教育学部は茨城県内唯一の国立教員養成学部として「茨城県の教員養成機能及び教育研究・研修機能の中核拠点」を目指すことをビジョンとして掲げ、地域全体の教員になりたい子どもたちの裾野を広げながら、本学教育学部の志願者・入学者を確保し、教員就職率の向上及び大学院への進学に繋げる一連の取組を実施している。

① 教員志望の裾野を広げる取組

ア 中学生・高校生からの教員志望を醸成する取組

平成 29 年度から高大接続事業として、学校教員の魅力を中学生・高校生とともに考えるワークショップを茨城県教育委員会と連携して開催している。

イ 附属学校園における先進的な働き方改革

教員の多忙により教員になりたい高校生・大学生が減少しているといわれている中、本学の附属学校園において先導的な働き方改革を実施している。

この取組は、令和元年 7 月に開催した、茨城県立高等学校長管理研修会において事例紹介するとともに、県内 9 市町村の教育長を訪問し資料の配付及び説明をするなど、附属学校園における実績を地域に還元する取組を展開している。

今後も、働き方改革の検証・改善を行い、地域の教育委員会、学校への還元を行いながら、教員のマイナスイメージを払拭するための取組を推進する。

② 教育学部における教員志望の高い学生の確保

平成 30 年度学部入学試験から、全ての募集単位で面接試験又はプレゼンテーション等を実施し、入学に当たっての教員志望について確認している。

③ 教育学部在学中における教員志望の維持・向上の取組

ア 1,2 年次生対象の取組

- 茨城県教育委員会と連携して学部新入生オリエンテーションにおいて「教員採用試験の現状」「教員の魅力」「求められる教師像」を伝える取組を実施している。
- 教員の魅力を伝えるとともに、教員に求められる人間性・専門性について、実践的、共同的に学ぶことを目的に茨城県教育委員会が主催している「いばらき教員養成セミナー」への積極的な参加を促進している。

イ 3,4 年次生対象の取組

教員志望の維持・向上のためには、多くの学生が卒業後の進路を最終的に決める 3 年次での働きかけが重要になるため、特に取組を充実させている。

- 3 年次必修科目の「ライフデザイン」において、教員への不安を払拭して教員としての人生の見通しを持ってもらうため、現職学校管理職教員や若手教員、茨城県教育委員会管理主事を招聘し、現場サイドと教育行政サイドからの「働き方改革」や「教員としてのキャリアデザイン」についての講義を実施している。
- 3 年次に茨城県教育委員会との連携集中講義「現代教育の実践的課題」を開講し、茨城県教育委員会の義務教育課、高校教育課、特別支援教育課の指導主事・管理主事等を

招聘して茨城県教育現場の現状、教員採用試験の動向及び各校種の学校における学習指導のあり方などについての講義を実施している。

- 学生に指導案作成や研究授業実施の義務を課さない「教員の日常」を体験してもらうため、学部３年次生を対象に「教育インターンシップ」制度を設け、教員志望の維持・向上を図っている。
- 児童・生徒とふれあう機会を増やし教員志望の維持・向上につなげるため、附属学校支援のボランティア活動を単位化し、学生の参加を促進している。
- 茨城県教育委員会が、教員としての基本的な機能を身につけ、教員になることへの意欲を再確認することを目的に、若手教員と学部３年次生以上を対象として開催している「いばらき輝く教師塾」への積極的な参加を奨励している。

④ 教職大学院の学生確保に向けた具体的な取組み

ア 教職大学院説明会

教育学部学部生を対象に開催している、改組後の魅力的なカリキュラムを積極的にアピールするとともに、教員採用試験に合格した場合の「採用候補者名簿登録の猶予制度」等のメリットについても周知徹底を図り、教職大学院への志望者の増加を図る。

イ 全学教職センターと連携した教育学部以外の学生に対する広報活動

近年、学校現場からは教員養成学部以外の専門学部卒業者の教員養成に関する要望が強くなっている。一方、専門学部卒業者に関しては、専門分野の高度な知識は身につけているものの、指導法については教員養成学部卒業者と比べ必ずしも十分に身につけていないとの指摘もある。そのため、専門学部卒業者の教員志望者を教職大学院に受け入れ、教員としての指導力の向上を図る流れを構築することも、今回の教職大学院の設置のねらいの一つである。

本学においては、平成 28 年度に全学教職センターを立ち上げ、主に、教育学部以外の専門学部の教員養成の強化を図っており、同センターと教職大学院とが連携して教職大学院説明会を開催するなど、教職大学院の魅力を積極的に広報する取組を実施する。

ウ 近隣他大学からの入学者確保に向けた取組

平成 30 年 12 月に本学、茨城キリスト教大学、常磐大学の 3 大学で「茨城県の教員養成に関わる 3 大学連携協議会」を発足し、茨城県教育委員会の協力を得ながら、地域全体の教員養成の高度化等に関する各種共同事業を展開している。

本学は、この枠組みの中での唯一教職大学院を有する大学として、連携大学の学部学生に対し、本学教職大学院進学の魅力やメリットを伝える広報活動を積極的に行い、入学希望者の増加を目指す。

エ 教職大学院進学者及び修了者のインセンティブ

- 茨城県では、教員採用試験に合格した大学院進学者について、採用候補者名簿登録の猶予が認められており、さらに、大学等推薦特別選考に対する指定を受けており、推薦者については 1 次試験が免除されている。

○教職大学院修了生について、教員採用後の初任者研修が免除されることも検討されている。

オ 教職大学院の実績の積極的な発信・還元

○茨城県教育研修センターで行われる現職教員向けの研修会において、平成 29 年度より教職大学院学生による発表を行っており、平成 30 年度は、前年度修了生による学修成果の学校現場での実践・活用事例の発表も行った。今後もこの取組を継続して実施し、教職大学院における学修成果を積極的に発信・還元することにより、現職教員の入学希望者の拡大につなげていく。

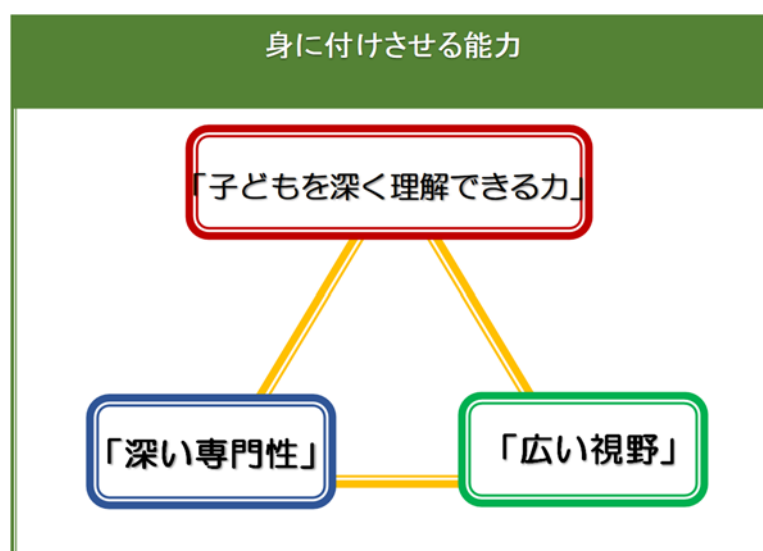
2. 人材需要の動向等社会の要請

(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

茨城大学教職大学院は、倫理観・使命感を持ち、高度な専門性と教育者としての資質能力に優れた人間性を有し、変化の激しい教育現場において、「誰も置き去りにしない、すべての子ども力を伸ばす教員」の育成をめざして、カリキュラム・マネジメント能力を備えた高度な教育実践力を有した教員を養成する。より具体的には、

- 1) すべての子どもに対して「主体的・対話的で深い学び」を展開できる教員
- 2) 多様な子どもを深く理解し、実践につなげていくことができる教員
- 3) 地域の教育的課題を知り、協働して課題解決に取り組むことができる教員

が養成する教員像となる。そして、これらの資質・能力を有する教員を養成するために、教職大学院では、「子どもを深く理解できる力」「広い視野」「深い専門性」という 3 つの能力を身に付けさせる。



ここでいう「子どもを深く理解できる力」とは、子どもの諸能力・技能を多面的に評価するとともに、子どもの願いや苦悩に寄り添い、またその背景にある環境にも目を配りながら、子ども

の真の学習ニーズを理解できる力を指す。「広い視野」とは、社会の変化やニーズと子どもの実態を踏まえながら、同僚や様々な人と協働し、学際的・多面的な広い視野で教育上の課題を探究できる力を指す。「深い専門性」とは、子ども理解や広い視野に基づく教育上の課題と自分の専門分野を結びつけて、それぞれの課題解決のための方法をさらに深く追究できる力を指す。

(2) 上記(1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

近年の国の教育政策を振り返ると、教員養成に関わる各種の答申などで、「全ての子どもが質の高い教育を受けられる」(第3期教育振興基本計画)ことや、「ICTの活用、特別な支援を必要とする児童生徒等への対応などの新たな課題に対応」(平成27年12月中教審答申)できることが強調されている。また改訂学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」を保証するためにも教科横断的なカリキュラム・マネジメント能力が重視されている。

一方、茨城県では平成28年度に「いばらき教育プラン」、平成30年度に「茨城県教員育成指標」を策定し、確かな学力の向上や体力・運動能力の維持、豊かな心を育むための教科指導、生徒指導の専門性と並んで、特別支援教育担当者や養護教諭の果たす役割の重要性も強調されている。

こうした中で、上記の教育目的はまさにこうした課題に正面から応えるものである。

さらに茨城県においても、教員退職者数の増加によって教育の質の低下が危ぶまれており、質の高い教育の需要が高まっている。

茨城県では、今後2027年度までは公立小・中学校の教員採用推計予定者数が550人を上回る(資料6参照)。こうした中で教育の質を保証するためには、教職大学院を修了した高度な専門性を有する教員を少しでも多く供給することが求められる。

また、茨城県では中高一貫教育校を全県的に設置していくことが計画されており、これまでのような義務教育段階中心の教員養成だけでなく、他学部・他大学卒業生も含めた中等教育段階の教員養成にも力を入れる必要があり、そのためにも教職大学院は重要な役割を果たすことが期待されている。

さらに、特別支援教育や養護教育の分野でも、従来型の専門性に加え、教科教育等の専門性や学校内外の教職員や他機関と連携する力など、新たな専門性も求められるようになってきている。このことは、茨城県の教員育成指標からも読み取ることができる。

一方、受験する側のニーズを踏まえるなら、前述のとおり、教職大学院への進学希望者は予定定員を遙かに超えている。また教職大学院設置以降の教育学研究科の受験及び入学状況を振り返ると、平成31年度の修士課程を除いて常に定員充足率は100%を超えており、こうしたニーズは今後の教職大学院に引き継がれていくはずである。

義教 第2924号

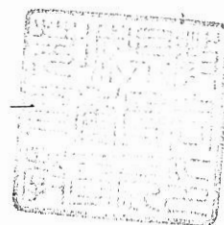
令和2年3月16日

茨城大学長

三村 信男 殿

茨城県教育委員会

教育長 柴原 宏一



茨城大学大学院教育学研究科教育実践高度化専攻（教職大学院）拡充に関する要望

近年、社会の変化はますます速度を増しており、人工知能（AI）、ビッグデータ、ロボティクス、Internet of Things（IoT）等の先進技術が高度化してあらゆる産業や社会生活に取り入れられ、社会の在り方そのものが「非連続的」と言えるほど劇的に変わる Society 5.0 時代の到来が近いとされています。

そして、学校においても、未来を担う子供たちに、様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決する力や新たな価値を創造する力などを身に付けさせることが求められています。

本県では、茨城県教育計画において「グローバル社会で活躍する『人財』育成」を重点施策の一つとして掲げ、時代の変化に対応し、自ら考え、自ら行動し、解決できる子供たちの育成に向け、少人数教育の充実、コミュニケーション活動を重視した英語教育の推進、民間等の教育資源の活用、ICT 環境の整備などに取り組んでいるところです。

しかしながら、今後、さらに質の高い教育を児童生徒に保証していくためには、教員が自律的に学ぶ姿勢を持ち、時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる資質能力を生涯にわたって高めていくことが重要であり、そのためには、大学と教育委員会との連携・協働等により、教員の養成・採用・研修の一体的な改革を一層進めていく必要があると認識しております。

貴大学教育学研究科では、令和3年4月に全面教職大学院化を目指して検討を重ねられ、これまで具体的な内容を数度御説明いただきました。すでに教職大学院教育実践高度化専攻として教育実践を重視した3コースを設けられ、実践力を有する有用な人材の育成に御協力をいただいております。

加えて、このたび教科領域コース、特別支援科学コース、養護科学コースの3コースの新設を意図されており、本県としましても今回の教職大学院の拡充に大いに期待するとともに、下記について、特段の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 多彩な教育プログラム

新たな教育実践高度化専攻においては、Society 5.0 時代の到来を見据え、また新学習指導要領で求められる諸課題に対応するため、カリキュラム・マネジメント、ICT 活用やプログラミング教育、発達障害への対応とインクルーシブ教育に関わる科目等の設定により、共通5領域を一層充実させ、さらに各コースにおける専門科目や融合科目を通して、広い視野と深い専門性を備えた教員の養成等を可能にする多様な教育プログラムを求めます。

- (1) 教科領域コースでは、高度な専門性に裏付けられた教科教育力に加え、教科横断・文理融合の教育力を備え、かつ障害や病気、日本語の習得状況などにより特別な支援を必要とする子供への配慮のできる教員。
- (2) 特別支援科学コースでは、教育現場における特別な支援を必要とする児童・生徒に対する専門的指導ができるとともに、他の教職員への適切な相談・支援を通してインクルーシブ教育の推進を積極的に担い、同時に教科の指導を深めることのできる教員。
- (3) 養護科学コースでは、児童・生徒および同僚の教職員の健康に関する科学的理解と養護の高度な専門性を有するとともに、学校内外の教職員と連携・協働しコーディネーター的役割を果たすことのできる教員。

2 指標に適合する教育内容

本県では、平成30年2月に「茨城県公立の小学校等の校長及び教員の資質の向上に関する指標」を作成しています。教職大学院における現職教員及びストレートマスターに対する教育内容が、本指標に適合するようなものであることを求めます。

併せて、義務教育学校及び中高一貫教育校の設置計画が進んでおり、それらに対応できる教員の養成が課題となっています。これらの課題に応えられる多様なプログラムを用意した教職大学院であることを強く希望します。

3 茨城県教育委員会と教職大学院との連携協力体制

- (1) 教職大学院の運営等に当たっては、今後も大学と茨城県教育委員会との綿密な連携・協力の中で協議しながら遂行していくことを願望いたします。
- (2) 教職大学院の学生が、臨床実習するための実習校として県立学校を提供するとともに、実習校において教科指導、部活動指導、研究授業、研究成果発表等の機会を提供いたします。
- (3) 茨城県教育委員会が派遣する現職教員の受け入れを希望いたします。

なお、修了者については、教職大学院における研究内容、研究実績等を踏まえ、その専門性を生かせるよう、配置や任用などの面においても考慮してまいります。

教職大学院に関するニーズ調査

茨城大学大学院教育学研究科では、令和 3 年度より新たに 6 コース制からなる教職大学院に改組する予定です。このため、大学生の皆さんにニーズ調査を実施させていただくことになりました。教職大学院に関する説明を聞いた上で、教職大学院へのニーズ調査について回答してください。

なお、ニーズ調査に際しては、個人が特定されないように十分配慮し、調査目的以外で使用されることはありません。

下記の質問にお答えください

大学名 () 大学)

所属学部 () 学部)

学年 () 年生)

1. 卒業後の進路について、いずれかに☒をしてください。

☐ 教員を志望している (⇒ 2 の質問へ)

☐ 教員志望を迷っている (⇒ 2 の質問へ)

☐ 教員を志望しない (⇒ 教員の可能性が少しでもある場合は 2 の質問へ。

教員になる可能性が全くない場合、ニーズ調査は終了となります)

2. 志望する校種あるいは職種について該当するものに☒をつけてください。なお、中学校と高等学校においては教科名も記入してください。

☐ 幼稚園 (保育園や認定こども園を含む)

☐ 小学校

☐ 中学校 (教科名: _____)

☐ 高等学校 (教科名: _____)

☐ 特別支援学校

☐ 養護教諭

(⇒ 3 の質問へ)

(裏面につづく)

3. 茨城大学の教職大学院への進学志望について、(1)～(4)のいずれかに☒をしてください。

☐ (1)教職大学院にぜひ進学したい

☐ (2)教職大学院に進学したい

☐ (3)教職大学院に進学するか迷っている（下記のチェック欄も記入）

↳（理由等）

☐ 教員を経験した後でじっくり考えたいから

☐ 早く教員になりたいから

☐ 他の大学院等への進学を考えているから

☐ 経済的に不安があるから

☐ その他（

（⇒4の質問へ）

☐ (4)今は関心がない（下記のチェック欄も記入）

↳（理由等）

☐ 教職大学院に魅力を感じないから

☐ 早く教員になりたいから

☐ 他の大学院等への進学を考えているから

☐ その他（

（⇒5の質問へ）

4. 進学したいコースについて、第1志望と第2志望に☒をしてください（必ず第2志望までチェックしてください）。

	第1志望	第2志望
教育方法開発コース	☐	☐
児童生徒支援コース	☐	☐
教科領域コース	☐	☐
特別支援科学コース	☐	☐
養護科学コース	☐	☐

（⇒5の質問へ）

5. 教職大学院について、意見や質問等があれば、以下に記入してください

ニーズ調査はこれで最後になります。ご協力ありがとうございました。

進学希望アンケート結果

【茨城大学教育学部 3 年生】 n=247

1. 卒業後の進路について、いずれかに☒をしてください

(1)教員を志望している	144
(2)教員志望を迷っている	62
(3)教員を志望しない	41

2. 志望する学校種あるいは職種について該当するものに☒をつけてください。なお、中学校と高等学校においては教科名も記入してください。

幼稚園(保育園や認定こども園を含む)	14
小学校	92
中学校	109
高等学校	62
特別支援学校	14
養護教諭	29

3. 茨城大学の教職大学院への進学志望について、(1)～(4)のいずれかに☒をしてください。

(1)教職大学院にぜひ進学したい	52
(2)教職大学院に進学したい	13
(3)教職大学院に進学するか迷っている	52
(4)今は関心がない	107

「(3)教職大学院に進学するか迷っている」に回答した理由

教員を経験した後でじっくり考えたいから	6
早く教員になりたいから	15
他の大学院等への進学を考えているから	6
経済的に不安があるから	26
その他	11

「(4)今は関心がない」に回答した理由

教職大学院に魅力を感じないから	23
早く教員になりたいから	46
他の大学院等への進学を考えているから	6
その他	18

4. 進学したいコースについて、第1志望と第2志望に☒をしてください（必ず第2志望までチェックしてください）。

第1志望

	教育方法	児童生徒	教科領域	特別支援	養護科学
3(1)を選択した者	4	6	30	5	7
3(2)を選択した者	1	0	4	0	8
3(3)を選択した者	9	7	22	2	12

第2志望

	教育方法	児童生徒	教科領域	特別支援	養護科学
3(1)を選択した者	23	25	1	0	0
3(2)を選択した者	3	4	0	0	0
3(3)を選択した者	17	17	5	5	0

【茨城大学他学部 3 年生】 n=52 ※他学部は理学部および人文社会学部

1. 卒業後の進路について、いずれかに☒をしてください

(1)教員を志望している	15
(2)教員志望を迷っている	8
(3)教員を志望しない	29

2. 志望する学校種あるいは職種について該当するものに☒をつけてください。なお、中学校と高等学校においては教科名も記入してください。

幼稚園(保育園や認定こども園を含む)	0
小学校	0
中学校	9
高等学校	37
特別支援学校	0
養護教諭	0

3. 茨城大学の教職大学院への進学志望について、(1)～(4)のいずれかに☒をしてください。

(1)教職大学院にぜひ進学したい	2
(2)教職大学院に進学したい	2
(3)教職大学院に進学するか迷っている	4
(4)今は関心がない	38

「(3)教職大学院に進学するか迷っている」に回答した理由

教員を経験した後でじっくり考えたいから	1
早く教員になりたいから	0
他の大学院等への進学を考えているから	0
経済的に不安があるから	1
その他	2

「(4)今は関心がない」に回答した理由

教職大学院に魅力を感じないから	9
早く教員になりたいから	3
他の大学院等への進学を考えているから	26
その他	8

4. 進学したいコースについて、第1志望と第2志望に☒をしてください（必ず第2志望までチェックしてください）。

第1志望

	教育方法	児童生徒	教科領域	特別支援	養護科学
3(1)を選択した者	1	0	1	0	0
3(2)を選択した者	0	0	2	0	0
3(3)を選択した者	1	0	3	0	0

第2志望

	教育方法	児童生徒	教科領域	特別支援	養護科学
3(1)を選択した者	0	0	2	0	0
3(2)を選択した者	2	0	0	0	0
3(3)を選択した者	2	1	1	0	0

【他大学（茨城キリスト教大学）3年生】 n=8

1. 卒業後の進路について、いずれかに☒をしてください

(1)教員を志望している	5
(2)教員志望を迷っている	3
(3)教員を志望しない	0

2. 志望する学校種あるいは職種について該当するものに☒をつけてください。なお、中学校と高等学校においては教科名も記入してください。

幼稚園(保育園や認定こども園を含む)	1
小学校	7
中学校	0
高等学校	0
特別支援学校	6
養護教諭	0

3. 茨城大学の教職大学院への進学志望について、(1)～(4)のいずれかに☒をしてください。

(1)教職大学院にぜひ進学したい	3
(2)教職大学院に進学したい	1
(3)教職大学院に進学するか迷っている	4
(4)今は関心がない	0

「(3)教職大学院に進学するか迷っている」に回答した理由

教員を経験した後でじっくり考えたいから	1
早く教員になりたいから	0
他の大学院等への進学を考えているから	0
経済的に不安があるから	2
その他	1

「(4)今は関心がない」に回答した理由

教職大学院に魅力を感じないから	0
早く教員になりたいから	0
他の大学院等への進学を考えているから	0
その他	0

4. 進学したいコースについて、第1志望と第2志望に☒をしてください（必ず第2志望までチェックしてください）。

第1志望

	教育方法	児童生徒	教科領域	特別支援	養護科学
3(1)を選択した者	1	1	0	1	0
3(2)を選択した者	0	0	0	1	0
3(3)を選択した者	1	1	0	2	0

第2志望

	教育方法	児童生徒	教科領域	特別支援	養護科学
3(1)を選択した者	0	1	1	1	0
3(2)を選択した者	1	0	0	0	0
3(3)を選択した者	0	3	1	0	0

【他大学（常磐大学）3年生】 n=41

1. 卒業後の進路について、いずれかに☒をしてください

(1)教員を志望している	26
(2)教員志望を迷っている	8
(3)教員を志望しない	7

2. 志望する学校種あるいは職種について該当するものに☒をつけてください。なお、中学校と高等学校においては教科名も記入してください。

幼稚園(保育園や認定こども園を含む)	1
小学校	23
中学校	9
高等学校	3
特別支援学校	2
養護教諭	0

3. 茨城大学の教職大学院への進学志望について、(1)～(4)のいずれかに☒をしてください。

(1)教職大学院にぜひ進学したい	3
(2)教職大学院に進学したい	1
(3)教職大学院に進学するか迷っている	6
(4)今は関心がない	24

「(3)教職大学院に進学するか迷っている」に回答した理由

教員を経験した後でじっくり考えたいから	3
早く教員になりたいから	1
他の大学院等への進学を考えているから	0
経済的に不安があるから	3
その他	0

「(4)今は関心がない」に回答した理由

教職大学院に魅力を感じないから	5
早く教員になりたいから	11
他の大学院等への進学を考えているから	0
その他	8

4. 進学したいコースについて、第1志望と第2志望に☒をしてください（必ず第2志望までチェックしてください）。

第1志望

	教育方法	児童生徒	教科領域	特別支援	養護科学
3(1)を選択した者	1	1	0	1	0
3(2)を選択した者	0	0	0	1	0
3(3)を選択した者	1	3	0	1	0

第2志望

	教育方法	児童生徒	教科領域	特別支援	養護科学
3(1)を選択した者	1	2	0	0	0
3(2)を選択した者	1	0	0	0	0
3(3)を選択した者	0	1	4	0	0

過去5年間(平成27年～31年)の平均志願者数及び入学者数

平成27年度					平成28年度					平成29年度				
入学定員	志願者数	入学者数	志願倍率	定員充足率	入学定員	志願者数	入学者数	志願倍率	定員充足率	入学定員	志願者数	入学者数	志願倍率	定員充足率
修士課程	学校教育専攻	5	7	5	1.4	1.0								
	障害児教育専攻	3	3	2	1.0	0.7				3	5	5	1.7	1.7
	教科教育専攻	32	52	45	1.6	1.4				22	45	30	2.0	1.4
	養護教育専攻	3	2	2	0.7	0.7				3	1	1	0.3	0.3
	学校臨床心理専攻	9	28	8	3.1	0.9				9	38	10	4.2	1.1
専門職学位課程	(計)修士課程	52	92	62	1.8	1.2				37	89	46	2.4	1.2
	学校運営コース													
	教育実践高度化専攻													
	教育方法開発コース													
	児童生徒支援コース													
(計)教育学研究科					52	92	62	1.8	1.2	52	107	62	2.1	1.2
平成30年度					平成31年度					平均				
入学定員	志願者数	入学者数	志願倍率	定員充足率	入学定員	志願者数	入学者数	志願倍率	定員充足率	入学定員	志願者数	入学者数	志願倍率	定員充足率
修士課程	学校教育専攻	3	4	2	1.3	0.7								
	障害児教育専攻	22	41	23	1.9	1.0				22	39.6	28.4	1.6	1.3
	教科教育専攻	3	5	4	1.7	1.3				3	2.6	2.4	0.9	0.8
	養護教育専攻	9	19	11	2.1	1.2				9	24.2	9	2.7	1.0
	学校臨床心理専攻	37	69	40	1.9	1.1				37	72.4	44.8	2.0	1.2
専門職学位課程	(計)修士課程													
	学校運営コース		8	8							7.3	7.3		
	教育実践高度化専攻		7	4							7.3	5.0		
	教育方法開発コース		3	3							5.5	4.3		
	児童生徒支援コース	15	18	15	1.2	1.0				15	20	16.5	1.3	1.1
(計)教育学研究科					52	87	55	1.7	1.1	52	88.4	58.0	1.7	1.1

過去5年間(平成27年～31年)の学生区分別平均志願者数

平成27年～平成31年 志願者		平成27年度										平成28年度										平成29年度										合計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		大学新卒者					大学新卒者					大学新卒者					大学新卒者					大学新卒者																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員			茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員	茨城大学		他大学		入学定員</

- ◆茨城県教育委員会から今後の公立小・中学校教員の需要に係るデータを入手し、分析を行っている。(最新版を令和元年6月に入手)
- ◆**2025年度採用までは、600人超**、以降**2027年度採用までは、500人超**の**高い採用予定者数が維持されたと推計**。
- ◆2028年度採用以降は、今後の教育政策動向や教員採用状況(現状では著しい低倍率)等が不透明なため、現時点での推計は困難である(令和元年6月:教育委員会担当者)。

茨城県公立小中学校教員年齢構成

実績値

2018年度推計値

2019年度推計値

2018年度推計値

※今年度は、2028年度以降の推計データとの提供無し

採用予定者推計数(中学校)

採用予定者推計数(小・中学校計)

茨城大学入学定員(学校教育教員養成課程)

500人を超える教員需要が一年伸びる

昨年度推計と比べ大幅増加

採用予定推計者数(小学校)

第2期中期目標期間

第3期中期目標期間

第4期中期目標期間

第5期中期目標期間

H28.4 教職大学院

H29.4 教育学部再編(新課程廃止)
・教育実践科学コース新設
・専修力を養う多様な教育プログラム

H30年度入試から面接試験全面導入

2011年度

2012年度

2013年度

2014年度

2015年度

2016年度

2017年度

2018年度

2019年度

2020年度

2021年度

2022年度

2023年度

2024年度

2025年度

2026年度

2027年度

2028年度

2029年度

2030年度

2031年度

2032年度

2033年度

60歳

59歳

58歳

57歳

56歳

55歳

54歳

53歳

52歳

51歳

50歳

49歳

48歳

47歳

46歳

45歳

44歳

43歳

42歳

41歳

40歳

39歳

38歳

37歳

36歳

35歳

34歳

33歳

32歳

31歳

30歳

29歳

28歳

27歳

26歳

25歳

24歳

23歳

22歳

1

人数(人)

0

100

200

300

400

500

600

700

800

900

1000

1100

1200

1300

1400

1500

1600

1700

1800

1900

2000

2100

2200

2300

2400

2500

2600

2700

2800

2900

3000

3100

3200

3300

3400

3500

3600

3700

3800

3900

4000

4100

4200

4300

4400

4500

4600

4700

4800

4900

5000

5100

5200

5300

5400

5500

5600

5700

5800

5900

6000

6100

6200

6300

6400

6500

6600

6700

6800

6900

7000

7100

7200

7300

7400

7500

7600

7700

7800

7900

8000

8100

8200

8300

8400

8500

8600

8700

8800

8900

9000

9100

9200

9300

9400

9500

9600

9700

9800

9900

10000

10100

10200

10300

10400

10500

10600

10700

10800

10900

11000

11100

11200

11300

11400

11500

11600

11700

11800

11900

12000

12100

12200

12300

12400

12500

12600

12700

12800

12900

13000

13100

13200

13300

13400

13500

13600

13700

13800

13900

14000

14100

14200

14300

14400

14500

14600

14700

14800

14900

15000

15100

15200

15300

15400

15500

15600

15700

15800

15900

16000

16100

16200

16300

16400

16500

16600

16700

16800

16900

17000

17100

17200

17300

17400

17500

17600

17700

17800

17900

18000

18100

18200

18300

18400

18500

18600

18700

18800

18900

19000

19100

19200

19300

19400

19500

19600

19700

19800

19900

20000

20100

20200

20300

20400

20500

20600

20700

20800

20900

21000

21100

21200

21300

21400

21500

21600

21700

21800

21900

22000

22100

22200

22300

22400

22500

22600

22700

22800

22900

23000

23100

23200

23300

23400

23500

23600

23700

23800

23900

24000

24100

24200

24300

24400

24500

24600

24700

24800

24900

25000

25100

25200

25300

25400

25500

25600

25700

25800

25900

26000

26100

26200

26300

26400

26500

26600

26700

26800

26900

27000

27100

27200

27300

27400

27500

27600

27700

27800

27900

28000

28100

28200

28300

28400

28500

28600

28700

28800

28900

29000

29100

29200

29300

29400

29500

29600

29700

29800

29900

30000

30100

30200

30300

30400

30500

30600

30700

30800

30900

31000

31100

31200

31300

31400

31500

31600

31700

31800

31900

32000

32100

32200

32300

32400

32500

32600

32700

32800

32900

33000

33100

33200

33300

33400

33500

33600</

※茨城県教育委員会からのデータ提供による

R3.4(予定)教職大学院拡充

- ・学校インターシップ(iOP)

證

※1 「採用予定者数(小・中学校計)」：茨城県教育委員会から提供されたデータを基に作成した。
 ※2 「採用予定者推計数(小学校)」「採用予定者数(小・中学校計)」に平成25～29年度までの採用予定者数(小学校)及び採用予定者数(中学校)の割合を乗じて算出した推計値を示す。
 ※3 「入学生員(学校教育教員養成課程)」：各年度の4年前の学校教育教員養成課程の入学生員を示す(養護教諭養成課程は含まない)。